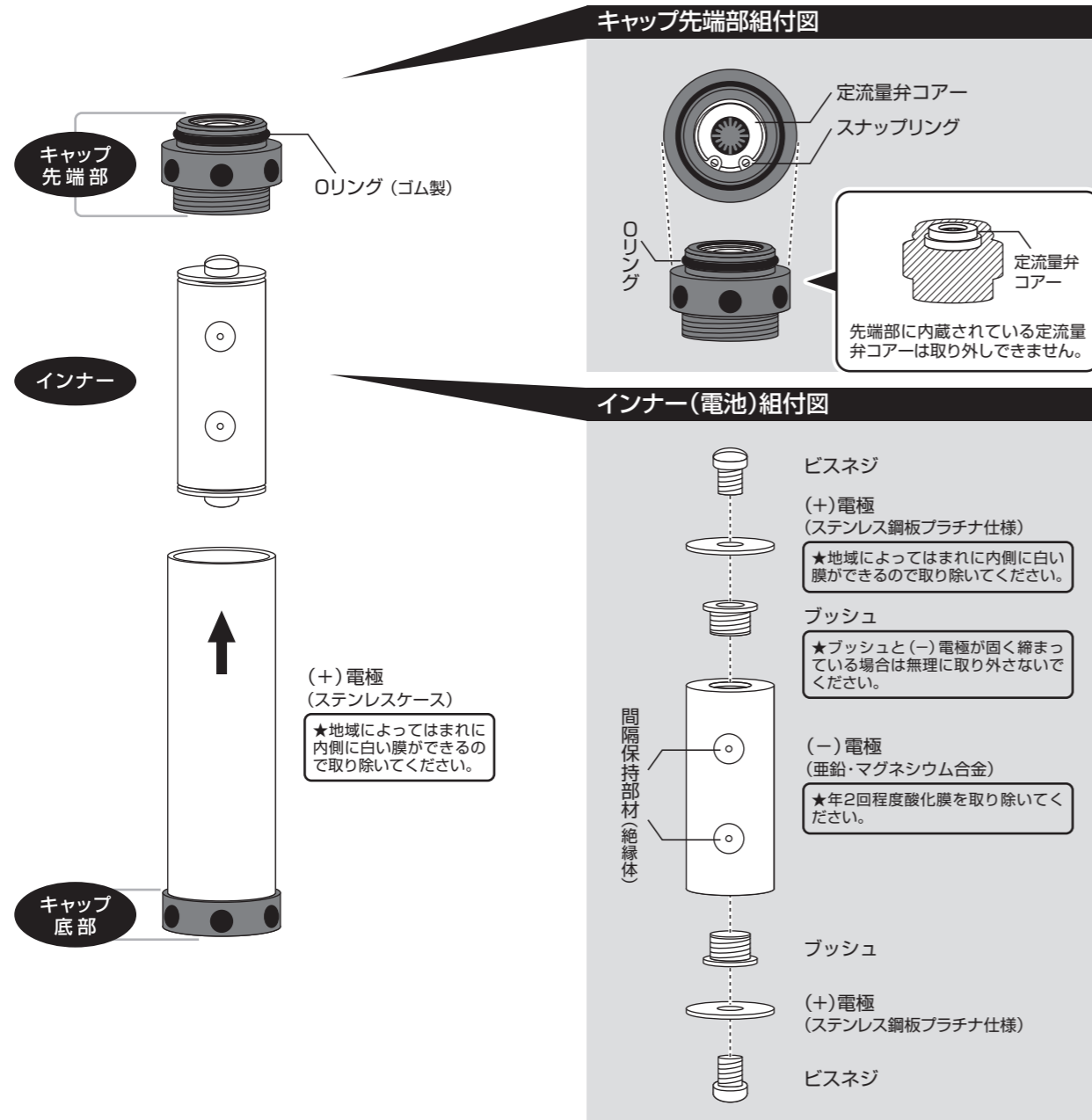


組付図



【次の人は飲用前に医師または薬剤師に相談すること】

- ①重篤な病や、その他の疾患で薬を常時服用され、医師の治療を受けている人は、医師とご相談の上で飲用ください。
- ②本人または家族がアレルギー体質の人。
- ③薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

【次の場合は飲用を中止し、医師または薬剤師に相談してください】

- ①飲用後、次の症状があらわれた場合 関係部位=皮ふ 症状=発疹・発赤・かゆみ

【次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続または増強が見られた場合は、飲用を中止し、医師または薬剤師に相談してください】

- ①口のかわき

保証期間 お買い上げより2年間 リング(黒い輪ゴム)、ビスネジは無償にて交換させていただきます。

(-)電極(亜鉛・マグネシウム合金)はメンテナンスを怠らず、キチンと使用していただければ、10年以上(常温の水のみご使用の場合)使用できますが、メンテナンスを怠るなど、管理が不十分で、その効果に不安を感じられたなら、(-)電極のみの取替(有償)もできます。また、紛失部品等の注文も承っております。(+)電極(ステンレス鋼板プラチナ仕様)は有償。)気軽にコールセンターまでお電話ください。

コールセンター ☎0120-067-789 9:00A.M.～5:00P.M.

水を極める、水の中で動く電池の販売 **株式会社 水環境電池**

商品仕様・形状、商品価格等は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

WBJ
Water Battery Japan

活性炭カートリッジに代わる「次世代浄水カートリッジ」

Hybrid 浄水カートリッジ® (蛇口内蔵用)

TA-1H タカギ用H

【ご使用の蛇口】

メーカー	蛇口品番	カートリッジ品番
タカギ	JHシリーズ	JH0003

品質表示

- 品名：Hybrid浄水カートリッジ(蛇口内蔵用)
- 用途：家庭用浄水器
- 電池の形態(使用材料)
(+)電極：SUS-304ステンレス鋼製筒
：SUS-304ステンレス鋼製座金(表面プラチナ仕様)
(-)電極：亜鉛・マグネシウム合金(高周波融合炉で溶解・融合仕様)
樹脂キャップ・ビスネジ・プッシュ：合成樹脂(PP又はPOM仕様)
リング：EPDM仕様
- メンテナンスの目安：年2回程度(中面を参照ください)

⚠ 使用上のご注意

【給水栓に浄水カートリッジを装着前の注意事項】

- 注文した商品が届いたら、必ずご確認ください。

商品が届いたら、まずは注文した商品に間違いがないか、小箱の側面に記載されている浄水器のメーカー名、注文品番を確認していただいた後に開封し、乾いた手で内容物(浄水カートリッジ本体、スコッチブライト、プッシュ、ビスネジ)に不足がないかご確認ください。
(-)電極(亜鉛・マグネシウム合金)の表面は、一旦濡れるとすぐに腐食して、乾燥染み(腐食の跡)が残るので返却不可になります。

【給水栓に浄水カートリッジを装着する時の注意事項】

- 浄水カートリッジは、従来の活性炭カートリッジと比べると重いので、落下させると、間隔保持部材(樹脂製のビスネジ)を損傷する恐れがあります。取り付ける時は落下しない様、十分ご注意ください、自身の両手でしっかり持って取り付けてください。

【給水栓に浄水カートリッジを装着後の注意事項】

- 浄水カートリッジを給水栓に装着しても直ぐに浄水効果を得ることはできません。(+)電極(ステンレスケース)の表面は、目に見えない「強固な酸化膜」に覆われているので、その「強固な酸化膜」を取り除くことで電池反応が励起され、浄水効果が得られるようになります。
(励起とは、量子力学的な概念で、1つの物質系、例えば、原子・分子などの系が、エネルギーの最も低い安定した状態から、他との相互作用によって、より高いエネルギー状態に移ること。(広辞苑参照))
- (-)電極(亜鉛・マグネシウム合金)の表面も、薄い酸化膜に覆われていますが、ステンレスケースに内蔵されているので、ステンレスケースの酸化膜を取り除く時に、(-)電極(亜鉛・マグネシウム合金)表面の酸化膜も同時に取り除かれます。
- 浄水カートリッジの表面を覆う強固な酸化膜が取り除かれるまでに要する期間
水道水の水温が高い夏場(18℃～25℃)は、7日～10日程度経過すると、徐々に酸化膜が取り除ける様になり、2週間程度経過すると浄水効果を得られます。水温が低い冬場は電池反応も弱まるため、さらに1週間程度時間を要する場合があります。
- 水道水に、炭酸カルシウム(石灰)が多く含まれる地域では、(+)電極の表面に白い膜が形成されることがありますが、この白い膜を取り除かず、そのまま放置すると固形化して取り除きにくくなり、電池作用が劣り効果が半減しますので、年2回のメンテナンスの時に確認いただき取り除いてください。
- 飲用に用いる場合は、吐水量を1/3程度に絞ってご使用ください。
- 給湯温度は50℃以上では使用しないでください。

- 井戸水や伏流水をご使用の場合は、年1～2回程度一般細菌・大腸菌の水質検査をしてください。

取り付け方法

1 従来の活性炭カートリッジと同じように蛇口ヘッドと活性炭カートリッジを取り外します。

2 購入直後のHybrid浄水カートリッジは、ステンレスケースの中にビニールのクッション材が入っていますので、キャップ先端部を外し取り除いてください。

3 蛇口ヘッドにHybrid浄水カートリッジを取り付け、水栓本体側に入れます。

必ず→を吐水方向にセットしてください。

必ず両手で作業!

※落さないように両手で取り付けてください。

ホースタイプの水栓は、ホースをのばしてやや下に傾けた状態で作業すると取り付けやすいです。

4 蛇口ヘッドを回しながら締めてください。浄水カートリッジを取り付け後、(+) (-)電極の酸化膜が取り除かれることで効果が得られます。(使用上のご注意を参照ください)

必ず両手で作業!

メンテナンス方法

年2回程度、(+) (-)電極の酸化膜を取り除いてください。

1 水栓本体から蛇口ヘッドとHybrid浄水カートリッジを取り外します。

必ず両手で作業!

※落さないように両手で作業してください。

2 Hybrid浄水カートリッジを分解し、中にある(-)電極を取り出してください。

※キャップ先端部はネジ式になっており、回すと取り外せます。

※取り出した部品は無くさないようにご注意ください。

※(+)-電極は落下すると変形する恐れがあるのでご注意ください。

※プッシュと(-)電極が固く締まっている場合は無理に取り外さないでください。

(+)電極 (ステンレス鋼板 プラチナ仕様)

プッシュ

(-)電極 (亜鉛・マグネシウム合金)

キャップ先端部

ネジ式になっています

取り出す

Hybrid浄水カートリッジを分解し、中にある(-)電極を取り出してください。

※キャップ先端部はネジ式になっており、回すと取り外せます。

※取り出した部品は無くさないようにご注意ください。

※(+)-電極は落下すると変形する恐れがあるのでご注意ください。

※プッシュと(-)電極が固く締まっている場合は無理に取り外さないでください。

(+) (-)電極のビスネジを外される時は、ネジの凹部にドライバーの凸部を正確に合わせて回さないと、ネジの凹部がカケて壊れる恐れがありますので、慎重に合わせて回してください。

3 (-)電極と、(+)-電極の鋼板、ステンレスケースを、ぬるま湯(40℃~50℃)150mlにクエン酸小さじ1杯(6g)の割合で作った溶液に10分~15分程度浸け置きしてください。さらに強固な酸化膜に覆われている場合は、クエン酸を増量し、時間も少し長く浸漬してください。

※(-)電極と(+)-電極の鋼板は、溶液に全てひたるようにしてください。

※ステンレスケースに溶液を入れる時は、ネジ部の下あたりまで入れてください。(白い膜が発生している時、白い膜が全てがひたるように溶液を入れてください。)

※プッシュと(-)電極が取り外せなかった場合、プッシュが付いたままの状態に溶液に浸け置きしてください。

※ガラス製の容器は破損する恐れがあるので絶対に使用しないでください。

目安 全てひたるまで入れる

目安 ネジ部の下まで入れる

水5:クエン酸1~2溶液

地域によっては(+)-電極の鋼板やステンレスケースの内側に、まれに白い膜が形成されることがあります。この白い膜は水5:クエン酸1~2の割合で作った溶液に浸漬することで取り除くことができます。そのまま放置すると固形化して取り除きにくくなるので、浸け置き後ステンレスケース内側を覗き、白い膜が全て取れているか必ずご確認ください。

白い膜は(-)電極周りに発生します。

4 ③で溶液に浸け置きした(-)電極と、(+)-電極の鋼板、ステンレスケースを水で洗い流してください。

(-)電極は表面に残った酸化膜をスコッチブライトで軽く取り除き水で洗い流してください。

(+)電極の鋼板とステンレスケースはすすぐように水で洗い流してください。

※白い膜が残っていないか必ず確認してください。

スコッチブライト

5 (-)電極を濡れたままの状態を組み付けてステンレスケース内に戻し、キャップ先端部をゆるまないようにしっかり締め付けてください。

戻す

6 組み付けたHybrid浄水カートリッジを浄水器に戻して完了です。(取り付け方法参照)

必ず両手で作業!

水の出が悪くなったとき、詰まったときは

手順 1

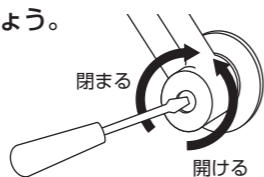
蛇口元ネジ(クランク)の止水弁を調整しましょう。

蛇口の止水弁(水の勢いを調整するバルブ)をマイナスドライバーで半回転して水の勢いを計ってください。

※止水弁を半回転させても勢いが変わらなければ、それ以上は危険ですので絶対に回さないでください。それ以上回すと使用中に外れて熱湯が噴き出す恐れがあり大変危険です。

※止水栓がない蛇口もありますので、蛇口の説明書をご確認ください。

※水圧は地域によって違います。



右に回すと閉まり、左に回すと開きます。開ける方向に回らなければ全開の状態です。

手順 2

蛇口のフィルターを掃除しましょう。

蛇口のフィルターにゴミがたまっていたら掃除してください。蛇口の種類の掃除方法が違いますので、蛇口の説明書を確認して掃除してください。

フィルター掃除は3~5年に1回程度行いましょう

上記の作業をしても改善されないときや、ご自分で作業することが難しい場合は、水道工事業者に点検・修理をご依頼ください。

上記のメンテナンスを定期的に行い酸化膜を取り除くことで、新品時の効果が得られます。(※酸化膜を取り除かずに長期使用をしますと効果の半減、電池作用の劣化を招きますのでメンテナンスは必ず行ってください。)